

# 十人十色



令和6年7月17日発行

三学年  
学年だよ  
vol. 3

約3か月の学校生活が終わり、いよいよ夏休みが始まります。この夏休みは、ゆっくり休んだり、自分のやりたいことをするだけでなく、進路活動などのやるべきことに優先して取り組んでいき、将来のことを考え、行動していく期間にしていきたいと思います。

さて、夏休みまでの大きな行事として、臨海教室がありましたね。4月から事前学習を行い、約2か月もの期間をかけて取り組んだ行事です。どのクラスも細かい所まで調べただけでなく、発表では、わかりやすく伝えようと様々な工夫をしていて素晴らしかったと担任の先生から聞いています。では、実際に行ってみて、事前学習で調べた内容は十分なものでしたか？実際に沖縄に行くとはわかりますが、インターネットで調べただけでは、わからないことがたくさんあったのではないのでしょうか。沖縄独特の気候や食文化、生々しい戦争の様子、マリンスポーツの楽しさなど、話で聞くのと、実際に体験するのでは大違いでしたよね。特に平和学習では、ひめゆり学徒隊として動員された方の言葉や講話での話は、インターネットで調べるよりも何倍も戦争の重みを実感したのではないのでしょうか。今回の行事では、平和の尊さやマリンスポーツの楽しさを理解してもらうことがメインではありますが、私はその他にも、実際に体験する大切さも学んで欲しいと思っていました。卒業後、皆さんは多くの知識や技術を得て、仕事をしていくこととなります。たくさんの知識は本を読んだり、調べたりして蓄えていくことはできますが、技術というものは実際にやってみないとなかなか磨くことができません。つまり、いろいろなことを理解して、様々なスキルを使いこなせるようになるためには、実際に体験することが必要不可欠なのです。今後の学校生活だけでなく、卒業後にも体験することの大切さを大事にしていってください。

保護者の皆様、まずはここまで賜りましたご協力に感謝いたします。ありがとうございました。いよいよ高校生活最後の夏休みとなりました。はっきりと見えない将来に、生徒たちはこれまで以上にストレスや不安を抱え、また、時には躓くこともあるかと思いますが、一人ひとりが自分の道を自分の力で切り拓いていけるよう、私たちも全力で支えてまいります。今後とも変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

3学年主任・3組担任：吉武 智裕

# 沖縄臨海教室を終えて

沖縄臨海教室では、楽しい思い出作りをするとともに、戦争の悲惨さや平和の尊さについて十分に学ぶことができました。10代の青春時代において今回のような貴重な経験ができたことは、今後の皆の財産になるはずで。夏休みは暑さ対策を万全にし、規則正しい生活を送ってください。卒業後の進路に向けて、さらに歩みを進めていきたいと思います。

教務主任・1組担任：増茂 俊樹



皆さんは約1ヶ月の間に、様々な行事を乗り越えましたね。特に沖縄の臨海教室は、不安や緊張、悩みなど様々な思いがあったことでしょうか。ですが、それを乗り越え、良い経験ができた皆さんなら、これから本格的に始まる進路活動もやりきれはるはずで。貴重な夏休みを有意義に使ってください。

2組担任：湯田 桃菜



「百聞は一見に如かず」というように、五感を通して見聞を広める貴重な経験ができましたね。特に、平和学習では、みなさんの心の中に生命の尊厳と平和を祈る気持ちが芽生えたのではないのでしょうか。更に、班行動や飛行機などの公共の場では周囲への配慮や思いやりが必要なことも学びましたね。学んだことを活かし、学校生活を充実させていきたいと思います。

4組担任：森川 知美



皆さんは事前学習として、沖縄の風土やマリンスポーツ、平和学習など様々なことを調べ、発表をしました。勿論、それも皆さんにとって学びになったでしょう。しかし、沖縄に行き、実際に見聞きし、体験したことで、更に感じたことや知ったことがあったと思います。そこで得たことを是非大切に、今後の人生に活かしていきたいと思います。

副担任：菅井 彩乃



3泊4日の臨海教室は様々な経験を通して、成長する機会になりましたね。特に時間を常に把握しながら、次に何をすればよいか考えて行動していたため、どの行程も遅れることなく進められたことは素晴らしかったです。今後は受験に向けて取り組んでいきますが、今回得た、先を見据えて行動する力を発揮して合格を目指してがんばっていきましょう。

副担任：清水 恭之介

## 7月予定

24日(水)～26日(金)、29日(月)、30日(火) 夏期講習

## 8月予定

15日(木)、16日(金)、19日(月)～21日(水)三者面談  
28日(水) 1, 3, 4限:LHR 2限学年集会





## 講話・ひめゆりの塔

- ・ ひめゆり学徒隊の悲劇や対馬丸の沈没、沖縄戦時下の生活の話で、戦争がいかに悲惨で残酷なことであるかを知った。二度と繰り返してはならないと感じた。(1組)
- ・ ひめゆりの塔の近くの壕の入口の大きさにびっくりした。講話においては、軍国少女等の当時の状況等、調べるだけでは、知ることができないことまでわかりました。(2組)
- ・ ひめゆりの塔では、様々な資料やデータを見たが、インターネットには載っていないことも知り、より一層、生の戦争を知ることができた。(3組)
- ・ ひめゆりの塔では、悲惨な話を知ってつらかったが、当時のことをよく知ることができた。講話では、今の日本は本当に平和なのかを考えさせられた。(4組)

## 平和祈念公園・平和祈念資料館

- ・ 平和祈念公園の石碑や噴水を見て、一つひとつに平和の意味が込められて作られていることを知り、改めて平和の尊さを実感した。(1組)
- ・ 平和祈念資料館で生々しい資料を見て、改めて今幸せに暮らせることの有り難みを感じることができ、貴重な体験となった。(2組)
- ・ 平和祈念公園は、戦争があった場所とは思えないぐらい、きれいに整備されていたが、礎の名前を見たり、資料館の痛々しい展示品を見て、戦争の爪痕を感じた(3組)
- ・ 平和祈念公園や資料館の中は、少し重苦しい雰囲気、戦争のことを真剣に考える場になった。(4組)

## 美ら海水族館

- ・ 水族館では、大小の様々な魚を見ることができた。特に、ジンベイザメはその大きさや美しさに感動した。(1組)
- ・ とてもきれいな魚たちに目が行きがちだが、水がとてもきれいで、清掃が行き届いており、素晴らしい環境で飼育されているからこそ、魚がきれいなのだと思った。(2組)
- ・ 沖縄にしかない魚のコーナーやここでしか見られない大きな水槽を見るなど、美ら海水族館でしか味わえない体験ができてよかった。(3組)
- ・ たまたま、えさやりの時間に水槽の中を見ることができてよかった。また、外にある他の施設も見てみたいと思った。(4組)

## 臨海教室in沖縄

## マリンスポーツ

- ・ 天候が心配だったが普段はできないマリンスポーツを沖縄のきれいな海で楽しむことができた。ドラゴンボートは予想以上に遠くまで行って驚いた。(1組)
- ・ ドラゴンボートから、勢いよく落ちたのも、今ではよい思い出である。スリル満点の種目の数々を楽しみ、みんなとの絆を深められた特別な体験になった。(2組)
- ・ シーカヤックでは、ペアの人と息を合わせるのが難しかったが、とても楽しかった。また、ビーチバレーもなかなかできない体験でおもしろかった(3組)
- ・ シュノーケリングでは、道具をちゃんと使えるか不安だったが、インストラクターさんのおかげで無事に終えられた。カクレクマノミを生で見られて感動した。(4組)

## 全体の感想

- ・ 時間配分やメリハリ、荷物の整理、身だしなみなど、これまであまり気にも留めていなかったことを必要とされたが、これを通して成長できた。(1組)
- ・ リアルな資料などを見て、改めて平和について学ぶことができた。自分が思っていたよりも沖縄戦が悲惨であることに本当に驚いた。(2組)
- ・ 戦争の悲惨さをとても考えさせられたり、マリンスポーツはとても楽しかったりと充実した4日間であった。また、沖縄に行きたいと思える旅行だった。(3組)
- ・ 平和学習やマリンスポーツなど、本当に濃い4日間だった。そして、沖縄独特の食事やお土産なども堪能することができ、充実した旅行であった。(4組)

## 首里城

- ・ 首里城で琉球王国時代の文化や建築様式を学んだ。また首里城からの景色がよく、散策できて良かった。(1組)
- ・ 首里城を見学して、歴史の深さや文化の魅力に触れることができた。城内の美しい建物は、本当に印象的で、過去の物語が息づいているようでした。(2組)
- ・ 首里城はとても沖縄らしい建築物がたくさんあったが、何個も門があるのは、簡単に敵を侵入させないものだとして聞いて、ここでも戦争のことを考えさせられた。(3組)
- ・ 首里城は、燃えてからまだ再建されてはいなかったが、門や城壁など、歴史を多く感じさせられた。2000円札の門を見られたことは、よい思い出になった。(4組)